

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

平成18年度病虫害発生予察注意報第2号について（送付）
このことについて、平成18年度病虫害発生予察注意報第2号を発表しましたので送付します。

注意報

平成18年度発生予察注意報第2号

平成18年5月15日

熊本県病虫害防除所長

農作物名	落葉果樹、カンキツ類及びビワ
病虫害名	果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

1 予報内容

- （1）発生地域 県下全域（特に天草市および県南地域）
- （2）発生時期 5月中旬以降
- （3）発生程度 平年比 多

2 注意報発令の根拠

- （1）本年はチャバネアオカメムシの越冬数が多く（過去14年間では、平成8年、14年に次いで3番目に多い：平成18年2月21日付、技術情報第14号参照）今後果樹園への飛来が多くなることが予想される。
- （2）4月下旬には予察灯、フェロモントラップにほとんど誘殺がなく、飛来時期は平年並だが、5月になって平年より多い誘殺数で推移している。（表1、表2）
特に天草市本渡の天草農業研究所の調査では、5月2半旬に、予察灯（100W水銀灯）でチャバネアオカメムシ：3303頭、ツヤアオカメムシ：1749頭、フェロモントラップでチャバネアオカメムシ：2829頭、ツヤアオカメムシ：213頭が誘殺されており、この時期としては例年になく多い発生となっている。
- （3）5月上～中旬に、天草および県南地域を中心に、カンキツ園、ナシ園での発生が確認されており、この時期としては多い発生である。（農業普及指導課等への聞き取り）

3 防除上注意すべき事項

- （1）果樹カメムシ類は園外から侵入し、地域によって発生量が異なるので、園内及び園周辺を見回り、早期発見、早期防除に努める。また、夜間に活動が活発となるので、夕方や早朝の防除が効果的である。
- （2）現在、天草市および県南地域で果樹園での発生が多くなっており、今後気温の上昇に伴って加害する可能性がある。特に成熟・着色の早い品目では注意する。
- （3）使用薬剤は、県または地域の防除指針に従い、使用回数、使用量、使用時期を遵守して農薬の安全使用に努めると共に、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意して、風のない夕方や早朝に散布する。

表1 チャバネアオカメムシの予察灯への飛来状況(誘殺数)

平成年度	合志市(農研センター)			宇城市(果樹研究所)			天草市(天草農業研究所)		
	H18	H17	H10～17 平均	H18	H17	H10～17 平均	H18	H17	H10～17 平均
5月1半旬	17	0	35	6	0	40	885	12	54
2半旬	59	0	13	30	0	33	3303	2	9
3半旬		0	7		1	33		0	24
4半旬		0	2		0	3		0	9
5半旬		0	4		0	21		0	4
6半旬		0	6		0	8		2	23

注:天草農業研究所は本年より20wブラックライトから100w水銀灯に変更している。
また、宇城市と天草市では、ツヤアオカメムシも多い傾向にある。

表2 チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの飛来状況(誘殺数)

平成年度	合志市(農研センター)			宇城市(果樹研究所)			天草市(天草農業研究所)		
	H18	H17	H10～17 平均	H18	H17	H10～17 平均	H18	H17	H10～17 平均
5月1半旬	25	4	3	47	17	39	119	126	61
2半旬	28	0	32	102	0	95	2829	23	52
3半旬		0	11		0	67		1	24
4半旬		2	5		4	33		1	29
5半旬		1	14		0	31		0	32
6半旬		1	45		5	159		0	33

過去多発年の予察灯誘殺状況

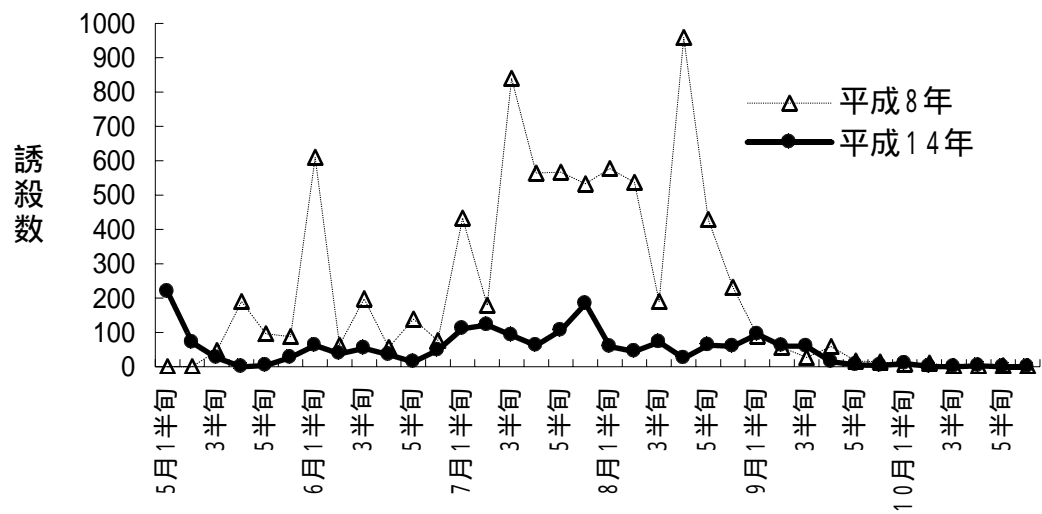


図1 合志市(100w水銀灯)

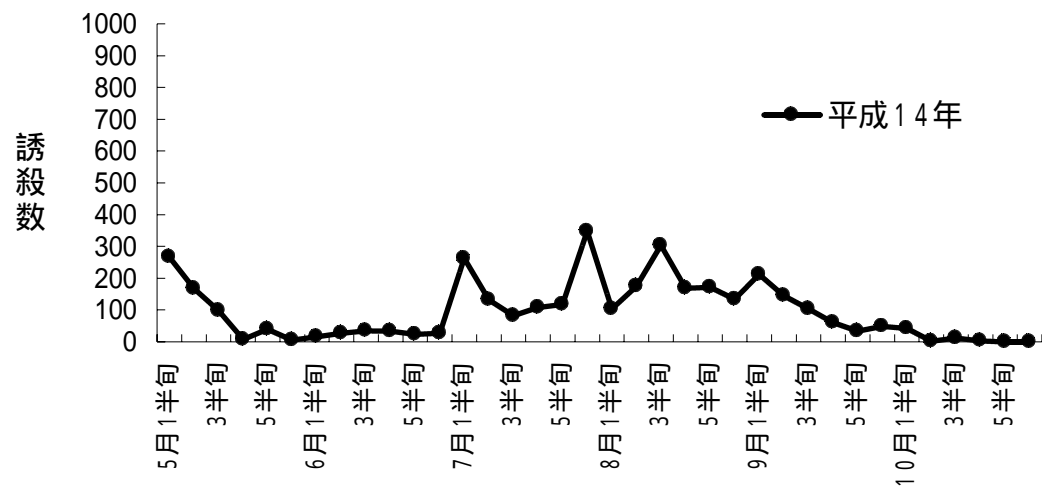


図2 宇城市(100w水銀灯)

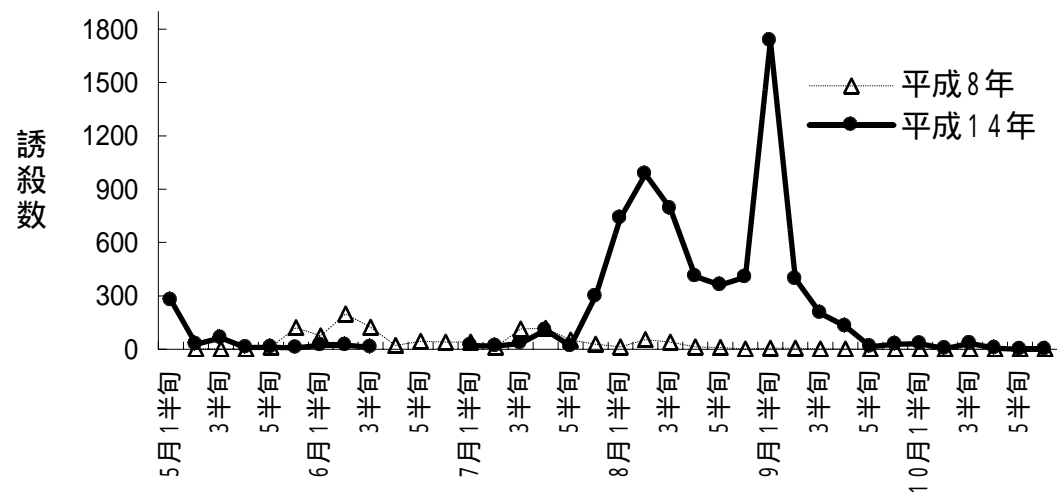


図3 天草市(20wブラックライト)